

NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 交流集会 2020 報告

令和2年2月22日（土）大宮ソニックシティ 4 階 404 集会室において、市民と行政がともに学ぶ「エコ・リサイクル交流集会 2020」が 44 名の参加のもと開催されました。



来賓として 埼玉県環境部資源循環推進課
副課長 福原紀明様と、公益社団法人日本青
年会議所 関東地区 埼玉ブロック協議会副
会長 清水英典様よりご祝辞を頂きました。



基調講演

「われらの目指す未来！SDG で叶える未来！！」



講師：大島浩司

グリーンピープルズパワー（株）取締役他

本日のテーマは SDG s = 「Sustainable Development Goals」：持続可能な開発目標について話す。

タイトルの写真は月から見た地球。人間はこの小さな球の「薄皮まんじゅう」の皮の部分に生きている事を認識する。

自己紹介：ソニーに 40 年勤め、1990 年代に展示会担当となり、展示会で如何にゴミを少なくするか目指し、環

境 ISO や CSR（**corporate social responsibility**：企業の社会的責任）に深く興味を持ち自ら手を挙げ、最後の 10 年間で環境と CSR に関わった。退職後もライフワークとして環境問題・CSR



に携わっている。SDG s の話は、このような会に参加しない一般市民/奥様方/子供に聞かせたい。

地球の持続可能性：地球は誕生してから 46 億年これから 50 億年寿命があると言われる。人間が存在する期間はほんのわずか。SDG s は人間だけではなく、すべての生き物のため。SDGs は 2015 年 9 月の国連サミットで採択された。

朝日新聞はドラえもんを使って子供たちに向け SDGs を優しく紹介した。

SDG s の課題の中で最も重要なのは「**13 番：気候変動に具体的な対策を**」。去年は台風 15 号 19 号が猛威を振るった。今後もありうる。すぐに対策を取らないと、人類は存亡の危機に立たされている。温暖化の次は灼熱地獄が来る。

去年の COP25 でグレタさんは云った「政府や企業に希望はないが・・・We can start right now」。私たちは大人の責任としてこの難局に立ち向かわなくてはならない。

同じ COP25 で**日本の石炭火力**が強く非難されたが、小泉環境大臣は「石炭火力を止める」とは言わなかった。このままでは日本は世界に貢献できない。台風 19 号：まさか千曲川でこんな氾濫が起きるとは。

解決する方法はあるか？知恵を出せばある。

CO2 排出：石炭火力新設は NO、/CCS 取り組み：石炭から出る CO2 を吸収して地中に埋蔵する技術/森林保全/海でブルーカーボン（海藻）を育てる/CO2 からダイヤモンドを取り出す研究もある。

RE100 は日本でも動き始めてはいるが、遅い。リコー RE100by2050 年ソニー RE100by2040 年。世界的には既に達成している会社もある。少しでも前倒しすべき。

大企業だけでなく、小企業にもできることはある。自治体も正しい危機感を植え付けて欲しい。日本は以前環境先進国だったが今では遅れている。

「**SDG7 番：エネルギーを皆に。そしてクリーンに**」も重要である。山本良一東大名誉教授が気候非常事態宣言を各自治体に呼びかけて、既に多くの自治体が宣言しているが埼玉県の自治体は無い。早く宣言をしてほしい。宣言するだけではダメ。何をするかが問題だ。

所沢ソーラーシェアリングは 690 万円を市民が協力して出来たソーラーシェアリングである。千葉県匝瑳市ではソーラーシェアリングのメガソーラーもできている。GPP の親会社 Easy Power も実施。農業と併存。FIT 価格は下がっているが、非 FIT の電力を買う企業も出ている。グリーンピープルズパワーも買う。

個人として何が出来るか。大きい発電所でなくても、**自宅の屋根**で。今年の FIT は 21 円で買う。コストも下がってきたのでモトは取れる。マイカーは止めてなるべく公共交通機関を利用する。車の利便性は否定しないが、環境に優しい車を使って欲しい。穀物/植物中心の食事を。**肉食から植物へ**。特に牛肉は環境負荷が高い。航空機の利用を控える。IT 社会になったので飛行機を使わないで済む場合もある。同じ飛行機でも燃費の良いものを。

15 年以上使った冷蔵庫・エアコンは買い換える。同じものを長く使うことは良いことではあるが、**冷蔵庫とエアコンは効率が非常に良くなっている。**

2009 年から始まった FIT は 10 年経って「**卒 FIT**」：東電は 8.5 円/kWh で買ってはくれるが、蓄電池を使って**自家使用**するという手もある。EV（蓄電池）と家の間で電気をやりとりする V2H という案もある。

エコキュートは決してエコではないから NO, 古い車は燃費が悪いから NO, ビフテキは環境負荷が高すぎるから NO。

HOT ニュース；イギリスのジョンソン首相は、2035 年以降ガソリン車&ディーゼル車を含む内燃機関の販売を禁止したハイブリットも含まれる。日本はなぜできないか？

日本は遅い。CO2 削減を宣言すべき。ISEP の HP：日本は石炭火力／天然ガスが多い、太陽光発電は増えたが。風力/地熱/バイオも少ない。主力は風力。ドイツでは風力発電が無数にある。

2020 年 SDG s のキーワードはエシカル＝倫理的。最近では若者言葉の中にもエシカルが浸透。エコ・リサは 25 年も前に設立された。素晴らしい先見の明。

消費者の選択が重要。コーヒー/チョコレート等エコ/フェアトレード商品。障害者/地産地消/生物多様性に配慮した商品。札幌の富士メガネ金井会長は途上国に眼鏡を送っている。私は共感して札幌まで行ってメガネを買う。これらをエシカル消費という。Patagonia の創業者シュイナード氏は社員をサーフィンに連れて行く。同社日本支社の辻さんは GPP を応援している。アバンティの渡邊社長はマイクロプラスチック問題意識が強く、ポリエステルフリースから抜け出す繊維が→下水に流れ処理場も通る→魚が食べ蓄積→人間が食べる：安全な羊毛フリースに変えるべく動き出した。GPP の親会社イージーパワーもソーラーシェアリングで農業の振興と発電をしている。GPP のパンフレットを読み、出来たら GPP の電気を買ってほしい。
(報告：河登 一郎)

SDG s 事始め～みんな初めは初心者だから

来ハトメ工業(株)管理部・係長兼 ISO900 管理責任者
EA21 環境管理責任者 石原 隆雅

(会社概要)

・来ハトメ工業(株)は、埼玉県八潮市にある、カーナビ等の車載電装品等の電子部品の骨格部のアルミケース等を製造する中小企業で、2010 年 9 月に環境省の EA21 認証を取得以来、自主性重視、徹底した環境教育、丁寧な情報開示の 3 つをモットーに環境協活動にとりくんでいる。

(当社流「SDG s 事始め」の経緯)

・SDG s との出会いは、2017 年 2 月の環境コミュニケーション大賞表彰式(当社過去 7 回受賞)で SDG s の存在を初めて知った。同年 8 月に関係者からのインタビューをきっかけで、環境省より SDG s のケーススタディの依頼を受け、中小企業として挑戦する機会を得た。

(SDG s 挑戦に向けての自社の自己分析)

・8 年間の環境活動実績があり、SDG s 導入に問題なし。分かり易さと低コストを追求。外国出身従業員(4 割)にいかに理解させるか、がポイント。



(個人のSDGs練習プログラム)

・2017年10月スタートで半年のスケジュールで実施。全従業員に「私のSDGs」という当社独自のSDGs練習プログラムを実施。SDGsの難しい部分には触れず「皆さんの経済・社会・環境関連」について1つ以上の目標を提出してもらった。

・提出された目標をSDGsの17の目標、169のターゲットと紐づけ(アイコンをつける)を行い、結果を「〇〇さんのSDGs」として従業員へ返し、自分目線でSDGsを実感してもらい、以後6カ月間は個人戦で、目標達成に向け、取り組んでももらった。また、全員の目標一覧表を入り口に張り出した。

・翌年3月に振り返りを実施。各自の達成結果を目標10点満点で自己評価してもらった。初めての試みで、どんな結果になるか、とても不安ではありましたが、皆案外マジメに回答してくれて、嬉しかったと同時に安心した。私も「週末は嫁に変わって料理する」という目標を立てたものの初めの1ヶ月で計画倒れ。その反省を生かし、翌年の目標は、皿洗いに変更。

(当社の活動のSDGs対応)

・環境活動をもとに策定した環境経営計画を一覧表にまとめ、目標とSDGsと紐付けした。SDGsアイコンを付け足したことで、SDGs取組み企業に大変身。紐づけ結果をグラフ化した結果、個人は「エコバック」に企業としては「教育」に偏っていること、逆に取り組んでいない項目も判明。会社のSDGs取組みを点数化(10点満点)したが、今年は7.0点で昨年よりわずかに進歩。

(まとめ)

- ① 「背伸びしませんか?」：各種表彰制度への挑戦、セミナー等への参加を通じて気候変動適応といった最新の知識に触れるチャンスも得られる。
- ② 「急がば回れ!!」：事前の自社の自己分析により自社にマッチした取組み方法を探れば、SDGsの「入口の形」がわかるはず。当社にとってのSDGsの「入口の形」が「私のSDGs」であった。
- ③ 「まずは、体感!!」：自分で行動し、成功(失敗)体験を得ること(個人の気づき)が、SDGsを理解するための最善策。自社よりも自身の活動として身近なものとしてとらえることが大切。
- ④ 「見える、見せるSDGs」：努力の成果をカッコよく、エレガントに見せること。講演発表の場や家族への自慢話としてでも結構。自社及び自分自身のイメージUPさせましょう。
(報告：瀬田 恵之)



一般社団法人 繊維リサイクル協会

<http://tera-jpn.or.jp/index.html>

埼玉エコタウンプロジェクト

～重点実施街区「所沢松ヶ丘」の取組

所沢市 環境クリーン部環境政策課 大舘 徹



埼玉エコタウンプロジェクトは平成 24 年度から先行エコタウンで行われており、既存住宅のスマートハウス化を集中的に推進する目的で所沢市松ヶ丘を選定し、平成 27 年度から 29 年度の 3 年間で実施されました。

スマートハウス化の補助金：埼玉県が、創エネ、省エネ、蓄エネ機器の設置、エコリフォームの費用の一部を補助することにより、松ヶ丘のスマートハウス化を促進しました。周辺事業としては、フロートソーラーの設置や EV 普及事業などを実施しました。

フロートソーラー：一番お金をかけた松ヶ丘の調整池に設置したフロートソーラーは、6000 万円から 7000 万円の黒字。可搬型蓄電池 2 基を設置しており、キュービクル内なので災害時は専門家が駆けつけ、取り外して松ヶ丘町内会館などで使用可能です。



スマートエネルギー補助金：すでに創エネ、省エネ、蓄エネ機器の設置・導入の費用の一部補助を、所沢市が用意していたので交付。太陽光発電、エネファームについては、県と市が重複して支給。所沢市にはなかった断熱改修や窓の改修などエコリフォームの補助金については、松ヶ丘住民限定で、県の補助額の 1/4 を市からも奨励金として交付し加速化を図りました。

町内会の協力：住民の皆様とにかく知っていただくか、情報誌を県と発行し定期的に全戸配布。最終年度には、自治会の皆様にも、もちつきや夏祭りなど、環境教育も含めた普及啓発にご協力いただくことができました。

事業者との連携「所沢市マチエコ応援隊」：機器メーカーや市内施工業者と連携し、創エネ、省エネ、蓄エネ機器の普及を図るため、市の登録制度をつくり、松ヶ丘への費用の高い太陽光発電についての訪問販売など市民に安心していただけるよう『マチエコ応援隊』を結成。情報誌に企業を紹介し、イベントにも参加してもらいました。

エコリフォームの実施件数：3 年間の合計で 641 件と町内会の協力のもと、県と市、マチエコ応援隊による普及啓発を継続し、住民の省エネに対する意識を少しずつ変えることで、年度を追うごとにエコリフォームや省エネ家電への買い替えが進む結果となりました。

(報告：大前 万寿美)

税理士法人 T&M ソリューション

毎月第 2 水曜日は「税の無料相談日」お気軽にお問い合わせください！

お問合せ ☎ 03-5829-9664 E-mail info@tms.or.jp

E-KIZUNA Project における本田技研工業株式会社との取り組みについて

さいたま市 未来都市推進部 石黒 達紀



さいたま市は、2015 年、国連で SDGs が採択された年、さいたま市の美園地区に理想都市の縮図を作ろうと、スマートシティさいたまモデル構築が始まり、2019 年 7 月には内閣府から埼玉県下で初めて SDGs 未来都市に選定され、再エネ 100 宣言 RE Action についても昨年宣言を行っております。

E-KIZUNA Project、すなわち電気自動車普及施策を始めた背景には、一般住宅での CO2 排出量が全国平均と比

べて高く、運輸部門のうち乗用車の割合が 59%と市民生活の CO2 排出量割合が多いことから、市民が使う乗用車をガソリン車から電気自動車に転換する施策を始めました。しかし、10 年前の電気自動車は、①1回の充電で走れる距離が大変短い、②車両価格が高い、③認知度が低い、という 3 つの課題がありました。①については、充電セーフティネット構築として、H31 年 4 月時点で急速充電器 69 台、普通充電器 212 台、箇所数 152 カ所、水素燃料自動車の普及のため、水素ステーション 4 カ所と市内全域をほぼ網羅しています。②については、需要創出のために電気自動車と次世代自動車を合計すると、特殊車両除くすべての公用車を次世代車両としました。また、市民に対して平成 30 年度末までに電気自動車 477 台、プラグインハイブリッド車 254 台、水素燃料自動車 40 台への補助を行っています。EV バイクの実証は平成 29 年度から第 3 回まで実施しています。③については普及活動としてさまざまなイベントなどで EV や水素燃料自動車の展示や、イベントに使う電力を車両から提供したり、小学校で EV 教室などを行うなどしています。さらに強いメッセージを残すため、E-KIZUNA サミットの開催、2021 年には、世界に向けて取り組みを発信しようと E-KIZUNA グローバルサミット開催を予定しています。

2011 年に協定を締結した本田技研工業との取り組みは、様々なエネルギー環境と多様な電動車両による災害に強い環境未来都市の実現を目的としており、次の①～③の 3 本柱です。①多様な電動車両の確保と新しいビジネスモデルの検討ということで、低炭素型パーソナルモビリティとして、MC-β という 2 人乗りの電気自動車のシェアリングの実証を行いました。②災害時にも対応できるくらしのエネルギー供給システムの検討として、V2H(ビークル・トゥーホーム)ということで電気自動車とか水素燃料自動車から家庭や避難所等へ電力供給を行えるシステムの実証を行いました。これは電気自動車などの車両に外部給電装置を差し込んで、避難所の一部の区域の電気を使えるようにするものです。また、スマート水素ステーションの実証をごみ焼却場で行いました。③の地産地消を目指した自立可能なホームコミュニティの検討では、Honda スマートホームシステム(HSHS)の取り組みを進めています。家庭の CO2 排出量を減らすこと、停電時や災害時にはエネルギーが自立可能となっています。桜区で実証する住宅設備としては、CIGS 薄膜太陽電池パネルの設置、V2H 機能付き外部給電装置、電気自動車をはじめとする多様な電動モビリティ、給湯ユニット、ガスエンジンコージェネレーションユニット、蓄電池(ホームバッテリーユニット)があり、エネルギーマネジメントシステムが最適にコントロールして、CO2 を限りなく削減する実証を行っています。

さいたま市が本田技研工業と取り組んでいる内容については以上です。(報告:清水 桂)

資源循環推進課コーナー

プラごみ削減！ 県庁職員の率先行動について ～ レジ袋・PETボトルを「減らす」「きちんと捨てる」 ～

プラスチック製品は、安価で利便性が高く、食品包装や飲料水の容器など、生活必需品として幅広く使われています。一方、プラスチックごみの海洋流出などにより、プラスチックごみの削減は世界全体で連携して取り組むべき喫緊の課題として、官民挙げて様々な取組が実施されています。

そこで、埼玉県では、プラスチックごみ削減のための職員率先行動として「マイバッグ・マイボトルの徹底」、「PETボトル再資源化の推進」を実践しています。

1 プラごみを減らす

✓ マイバッグ・マイボトルの携帯

- ・日頃からマイバッグを携帯し、県庁内売店はもとより通勤途中での買い物等でもレジ袋を断ります。
- ・日頃からマイボトルを携帯し、執務室や出張先でのプラスチック容器入り飲料の購入を控えます。

2 きちんと捨てる

✓ PETボトルの再資源化の推進

- ・リサイクルを容易にし、PETボトルの再資源化を目指します。

PETボトルを捨てる際は

- ①キャップとラベルを外します
- ②中をすすぎます



3 県庁売店でのレジ袋配布終了

プラごみ削減のための県庁職員の率先行動として、県庁売店でレジ袋の配布を終了します。

あわせて、マイバッグ等の持参について県庁職員に徹底するとともに、来庁者に対しては、ポップの掲示等により周知し、協力を依頼します。（ただし、必要な方にはレジ袋を配布します。）

おしらせ

**プラスチックごみ削減
マイバッグ利用
に取り組もう！**

埼玉県庁では
庁舎内ファミリーマート店舗（2店）にて
**3月13日（金）をもって
レジ袋の配布を
終了いたします**

※レジ袋が必要な方は店内設置のカードを会計時にご提示ください。
※7/1よりレジ袋は有料となります。

ご理解・ご協力をお願いいたします
本件に関するお問い合わせ：環境部資源循環推進課
048-830-3107



NPO 法人エコ・リサイクル連絡会 第16回 通常総会のご案内

日時：令和2年5月21日（木）13時～16時50分

会場：武蔵浦和コミュニティセンター

第6集会室記念講演講師

公益社団法人日本青年会議所関東地区 埼玉ブロック協議会 副会長清水 英典様

テーマ 「JCを通じて仕事でのSDGs」

創業
昭和3年

珍来

www.chinrai.co.jp



ゴトーグループ

快適な環境づくりのお手伝い。

村岡営業本部 ☎048-537-0555

ゴトーグループ

検索



<http://www.510goto.co.jp>



読売旅行

読売旅行「あなたの街から」いい旅 いつも これからも

☎03-6859-4343 FAX：03-6859-4433

司法書士竹内啓修事務所

お問合せ ☎048-963-6055 不動産・商業登記全般

編集後記：エコ・リサ通信109号、2020年・NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 交流集会のご報告です。ホームページに詳細な報告をしているので是非ともご覧ください。
轟 涼